

人の子も  
わが子と同じ  
愛のシャワーを♡



子育て総合支援センター



3月号



令和3年3月1日発行



去年の春は、お母さんの手を離せなかった子どもたちの小さな手。

この春は「おかあさ〜ん。」と手招きしたり、「どうぞ。」とお友だちにおもちゃを渡したりと優しい手になっていて、心なしか、たくましく大きな手になっているような気がしています。子どもたちの育ちに寄り添い、見守ることができて、センターのスタッフ一同とても幸せを感じているところです。

「大きくなったね。」これからも親子の成長を分かち合える居場所でありたいと思います。



### 子どもの世界は、素敵な世界☆ 「メイクっこ中に。..」

お化粧  
パタパタ  
〜♪



アンパンマン  
もね♪



「思いやる気持ち」  
遊びの中で、育ってます。

### 子どもの頃へタイムスリップ！ おすすめの本です♡

少しずつ暖かい日が増えてきて、春を感じるようになってきましたね。今年度は、コロナの影響で、思うように出かけられない、と感じていらっしゃるご家庭も多いのではないかと思います。

そんな時には、この一冊！遠出で「子どもと森へ出かけてみれば」(フレーベル館) 写真・ことば 小西貴士  
きないことを嘆くのではなく、近くの素敵なことに気づくきっかけになるのではないかと思います。この本は、著者が近くの園の子どもたちと森へ出かけて行き、ありのままの子どもを写真と言葉で表現しています。春、夏、秋、冬の子どもの姿と心に響く言葉が、ゆっくりのんびり心の旅へと私たちをいざなってくれます。



### コロナ禍だけど できることを ~子どもたちのために思いを巡らせる中学生の姿~



毎年開催していた「育ちあい講座」。市内の中学3年生、高校1年生と園児とが交流する時間のはずが、今年はコロナの影響でやむなく中止しました。それでも何かできることはないかと中高生が子どもたちのことを思いながら「手作りおもちゃ」や「手づくり絵本」に取り組みました。

手づくりの布絵本。完成度の高さにびっくり！！



家庭科の授業の中で、子どもの発達などについて事前学習し、幼児期の子どもたちってどんな遊びが好きなのか、どんなことに興味を持っているのか、そして、中高生自身、自分の子どもの頃はどうかだったのか、、、など思いを巡らせ、改めて「子ども」というものを考える時間になったそうです。直接的なふれあい体験はできませんでしたが「手作りおもちゃ」を近くの園に届けた学校もありました。お兄ちゃんお姉ちゃんの作ったおもちゃは心がこもっていて、子どもたちも感謝の気持ちを持って、大切に使っているそうですよ。『誰かのためにできること』コロナ禍の中でも誰かを思う気持ちは大切に育んでいきたいですね。

ダンボール迷路、  
難しそうだけど、  
やってみた〜い！



